

与謝野町立



加悦小だより

令和5年12月22日





加悦小 HP
第10号

<学校教育目標>

学ぶ意欲をもち 豊かな心で 人とのつながりを大切に 自立する児童の育成

か:かながえ行動する子 や:やさしい子 つ:つよい子 こ:こんきのある子

2学期の終業にあたって

暖かい師走でしたが、後半は冬の寒波がやってきました。朝、白い息を見せ合いながら元気に登校してくる子ども達、前日の楽しい出来事に満面の笑みで語り合う子ども達、サンタさんをお願いしている内緒の話を耳元でささやき合っている子ども達の姿を見ながら、当たり前な学校生活を送れるようになったことに喜びを感じています。

さて、残暑厳しい2学期の始業から約4か月間の教育活動を終え、無事に2学期の終了を迎えることができました。

ふり返ってみますと、各教科の学習内容はもちろんのこと、マラソン大会、与謝野町陸上記録会（5・6年）や駅伝競走大会（6年）、校外学習、社会見学（5年）、ふるさと学習、学習発表会、全校合唱、人権学習、障害者理解教育、演劇的手法を用いた表現力向上のための授業（6年）、俳句教室、読書月間、チーム掃除、チーム大縄跳び大会等、多くの行事や取組を実施することができ、学校内外を問わず様々な人との出会いやつながりを通して学びを深めることができました。どの学習や行事、取組も、ねらいや目標を明確にし、子ども達の主体性やふり返りを大事にしながら進めてきました。その中で、目標に向かってがんばる姿、試行錯誤しながら考え行動する姿、自己調整しながら自ら学びに向かう姿、仲間と協働し学び合う姿がたくさん見られました。また、取組を通して、学級や学年、チーム、全校の仲間とつながる喜びや心地よさ、協力することの大切さ、達成感や満足感を味わうことができ、集団としても大きく成長することができました。

中でも全校合唱とチーム大縄跳び大会は、集団の力の高まりを実感する取組となりました。学校再編から4年目。ようやく全校児童がマスクを外し、生の歌声を披露できるまでになりました。当日は、子ども達一人一人の真剣な眼差し、体育館いっぱいに広がる美しい歌声、集団の迫力に、見えないはずのつながりが感じられ聴いている人達に感動を与えました。終わった後の大きな拍手、子ども達が退場するまで送っていただき、ありがとうございました。また、児童会主催のチーム大縄跳び大会では、上級生が下級生を気遣う姿や優しく教える姿、温かな励ましや声掛け、前向きなふり返り発言が増え、練習を重ねるごとにチームのつながりが強まりました。このような異年齢活動を通して、子ども達自身が、互いを思いやり、協力し合い、支え合う良好な人間関係が育まれ、学校風土として優しさを醸成することにつながるのだと思います。学校教育目標「学ぶ意欲をもち、豊かな心で人とのつながりを大切に自立する児童の育成」、めざす子ども像「かやっ子」（考え行動する子・優しい子・つよい子・根気のある子）に近づいた2学期となりました。

さて、明日から約2週間の冬季休業に入ります。健康にはくれぐれもご留意いただき、楽しいひとときをお過ごしください。また新しい年を迎えるという大きな節目の時を大切にいただき、気持ちも新たに意欲をもってがんばれるよう、子ども達とともに目標や抱負について話をしていただけると幸いです。

最後になりましたが、保護者の皆様、学校運営協議会の皆様、登下校の見守りをしてくださるボランティアの皆様、地域の皆様、そして、本校を温かく見守り支えてくださっているすべての皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。来年も引き続きご支援・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

校長 小長谷 麻美

社協文庫の配本

ありがとうございます。

与謝野町社会福祉協議会様より、児童書を毎年いただいています。今年度、13冊いただきました。大切にに使わせていただきます。子ども達の豊かな心の育成と読書活動の充実に一層努めていきます。ありがとうございました。

おめでとう！

令和Buson俳句大賞

ロータリークラブ会長賞 4年 藤田柚華

「秋の風みんなえがおのよみきかせ」

三宅美千子秀逸 3年 北尾空大

「ゆうやけのお空をとぶよあきあかね」

南うみを秀逸 4年 西原希音

「秋の朝小鳥の森のパン屋さん」

南うみを秀逸 6年 佐々木寿珠

「秋の空スタート合図がなりひびく」

第38回国民文化祭「いしかわ百万石文化祭」

大正琴 グループアンサンブル金賞

キッズハーブ 4年 廣谷夏羽

幼小接続事業 12月15日（金）

延期になっていた幼小連携接続事業を実施することができました。初めに1年生とお互いに自己紹介をして校舎めぐりをしました。1年生が上手に案内をすることができました。次に、2年生と花植えをしました。この日のために2年生はプランターのネームプレートを準備してプレゼントをしました。仲良く花を植え楽しい会話も弾みました。新1年生は「入学するのが楽しみになった」と感想を伝えてくれました。



1月の行事予定



1/1	月	学校業務休止日
1/2	火	学校業務休止日
1/3	水	学校業務休止日
1/4	木	学校業務休止日
1/8	月	成人の日
1/9	火	3学期始業式 11:30 下校
1/10	水	給食開始 5時間短縮14:30下校
1/11	木	地区集会 5時間短縮14:30下校
1/16	火	CRT(国語)
1/17	水	CRT(算数)
1/18	木	児童朝会 新1年体験入学9:30~11:30
1/22	月	令和6年度入学児童保護者入学説明会
1/24	水	授業参観日②2組③1組 書き初め展・絵画展(~26日正午)
1/26	金	4年出前講座:海洋高校
1/30	火	4年認知症サポーター講座
1/31	水	給食週間取組スタート(~2/16)

~冬季休業中の電話対応について~

冬季休業中、何かありましたら、加悦小学校（43-1552）までご連絡ください。なお、冬季休業中の夜間等の自動電話対応は以下のとおりとなっております。

- ・平日は、17時15分から翌朝8時まで
- ・土日祝日および学校業務休止日（12月28日~1月4日）については終日となります。

緊急時連絡先 kaya-es-kinkyu@kyoto-be.ne.jp

平田オリザ先生の授業

11月30日（木）に、芸術文化観光専門職大学学長 平田オリザ 先生をお招きし、本校6年生を対象に、演劇的手法を用いた授業をしていただきました。演劇を通してチームワークを高めること、折り合いをつけること、やり抜くこと等、たくさんのことを学びました。



私は、たくさんの人に支えられている。友達と何かを成し遂げたとき、友情を感じる。だから、私は常に友達も周りの人も大切にしている。でも、自分の思いも大切にしている。そんなことを考えるようになったのは、あるきっかけがあったからだ。私は、これまで、友達や周りの人に「何がしたい？」「何がいい？」と聞かれたとき、「何でもいいよ。」とそれだけ伝えていた。本当は自分の気持ちを伝えたい。でも、友達にいやな思いをさせてはいけないという気持ちが優先して自分の思いを伝えられなかった。それは少し違うなと思ったことでも言えない自分がいて、もやもやしていた。そして、自分の気持ちががずつと満たされないうままだった。もやもやした自分が嫌になった。思い切つて、家族に打ち明けてみた。母は、私にこう言った。「自分の気持ちに正直になりなさい。自分に優しくできなくて気持ちが満たされないと、イライラした気持ちになってしまふ。それが悪循環になって人に優しくなれなくなつてしまふ。自分を苦しめてまで自分の気持ちを押し殺すことはない。」

その言葉を聞いたとき、はつとしたと同時に気持ちが楽になった。自分の気持ちも大切にして相手に伝えることで、もやもやが無くなった。周りの人に優しく笑顔で接することができるようになった。すると、自然にみんなとつながり合えたり、積極的に自分の気持ちを伝えたりできるようになった。私の周りには、自己中心的な人、反対に相手を優先してしまう人などいろいろな人がいる。でも、ほんの少し相手の立場に立ったり、自分の気持ちを伝えたりしてほしい。そうすれば、自分も周りの人も大切にできるのではないだろうか。

六年生になってから、たくさんの行事があった。行事を終える度に友情や絆が深まった。中でも心に残っている行事は、二つある。

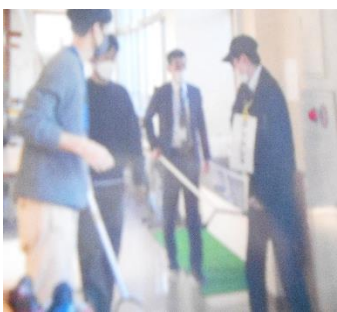
一つは修学旅行だ。初めてみんなで遠方まで行つて、一泊するのだ。計画を立てる中で、最初は意見がばらばらでなかなかまとまらなかった。でも、お互いに意見を伝え合う中で意見が少しずつまとまってきた。自分のことを考えていたみんながまとまってきた。集合する際も、常に、時間がかかっていたが、素早く集合できるようになった。私は、六年生が団結したことを感じ、とてもうれしかった。トラブルもあったが、自分達で解決し、みんなで思い出をいっぱい持ち帰ることができた。ふり返りでは、みんなで成長したところや課題点について話し合った。「時間を意識できるようになった」「集団行動ができるようになった」など、できるようになったことがたくさん出る中で、「相手意識の弱さ」が課題に挙がった。それを今後の課題としてみんなで一緒に取り組む中で学んでいきたいと感じた。

もう一つの行事は、「阿蘇・天橋立小学生駅伝大会」だ。選手としてではないが、サポーターとして選手のみんなを応援した。少しでも「がんばってほしい」という思いを伝えるために、サポーターで話し合い、お守りや横断幕を作ることになった。役割を分担し、裁縫が苦手な人も一生懸命お守りを作っていた。横断幕にはたくさんのメッセージが書かれていた。選手もみんなの思いを背負い、プレッシャーを感じながらも一生懸命練習をしていた。大会前日の壮行会では、思いのこもったお守りや横断幕を渡し、「がんばって！」とエールを送った。みんなの心が一つになり、教室は自然とあたたかい空気に包まれていた。当日は残念ながら応援には行けなかったが、心の中ですつと応援していた。翌日、ドキドキしながら結果を聞くと、なんと、加悦小学校は、総合二位という素晴らしい結果だった。

今、最高学年の私はどうだろうと、ふり返る。確かに人との関わり方はとても難しい。たった一言で友達に悲しい思いをさせてしまうこともあるし、自分の気持ちがうまく伝わらないこともある。それでも、自分がしてもらつてうれしいこと、されて嫌なことが分かつていれば、それを相手に伝えるだけできつとわかつてくれる。これまでの経験を通して学ぶことができた。私は、みんなに支えられている。それは、私の気持ちをみんなが理解してくれているからだ。そのおかげで自信をもつことができるようになった。今では、児童会本部の書記に挑戦して、全校のためにがんばっている。これからも、ほんの少しの勇気と優しさでみんなを支えていきたい。

不審者対応防犯訓練 12月6日（水）

不審者対応防犯訓練を実施しました。宮津警察署と加悦交番から3名の方に来校いただき、不審者が教室に侵入してきたことを想定して訓練を行いました。児童は、教師の指示や放送をよく聞いて速やかに避難することができました。訓練終了後には、警察署員の方から講話を聞き自分の身の守り方について教えていただきました。これからも自分の身を守り、命を守っていけるように学校でも指導をしていきます。ご家庭でも話題にしてみてください。



加悦中学校への体験入学 12月8日（金）

6年生が加悦中学校へ体験入学に行きました。校舎内を見学し、先生方から話を聞きました。中学校生活で大切にしたいこととして、「毎日の授業を大切にしよう」「集中して取り組む力を身に付けよう」「粘り強く、チャレンジする気持ちを持とう」や、中学校までに付けておいてほしい力等について教えていただきました。児童は熱心に話を聞きました。授業体験では、英語と社会から選択して、各々授業を受けました。今年度は部活動見学ではなく、部活動体験として自分が希望する部活動を体験しました。中学校の先輩とも交流でき、中学校に向けて気持ちを高めました。



大縄跳び大会 12月14日（木）

異年齢班のチームで大縄跳び大会に向けて練習を重ねてきました。児童が主体的に取り組を進めました。記録に挑戦することや友達とのつながりを大切にすること、高学年を中心に下級生へ声をかけ、どのようにしたらよく跳べるのか、みんな仲良くできるのかを考え取り組んできました。大会当日は成果を出し、どのチームもよく頑張りました。



ステッカー紹介式 12月13日（水）

加悦交番の「あんしんステーション」の取組がありました。本校の2年生がその取組に参加し、安全ポスターを描きました。代表の作品がステッカーになり、その紹介式がありました。今後、牛田機工商会様や砂後建設様の業務用自動車にステッカーが貼られ、安全を呼びかけるとのことです。



第17回与謝野町子ども発表会

12月3日（日）、与謝野町子ども発表会が知遊館で行われました。加悦小学校からは、6年 小西海々風さんが「勇気とやさしさと支え合う行動」と題して、堂々と発表をしました。

教育長から「行事や取組を通して、内面の成長や相手の立場を尊重し支え合う関係をつくることの大切さを学んだよい発表だった」と講評していただきました。

右面に意見文を紹介しています。ご一読ください。